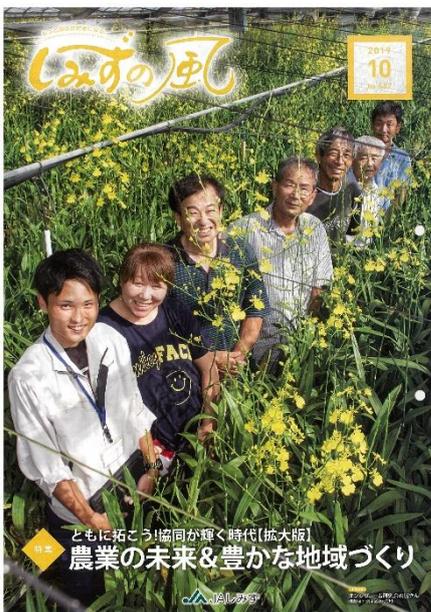


「しずおか防犯パトロール」登録企業の「JA しみず」様が広報誌「しみずの風（2019年10月号）」で「しずおか防犯パトロール」の活動について紹介してくださいました。



防犯パトロールに登録したJA職員



JAしみずは、日常生活の中で市民が地域を見守る静岡市の新事業しずおか防犯パトロールに登録し、子どもたちの夏休み明けに合わせた6月下旬から活動を始めました。

## 「ながら見守り」で安全・安心な町に一役

しずおか防犯パトロールとして活動しているのは、各支店のライフアドバイザー（LA）37人。仕事中に地域を回る際、市の非公認キャラクター「今川さん」の描かれた腕章をかばんや腕に着用し、子どもたちや高齢者が犯罪に巻き込まれないよう「不審者がいないかな」と防犯の視点で気を配り、見守り活動を行っています。

しずおか防犯パトロールは、これまで見守り活動を行ってきた地域安全推進員など既存の防犯ボランティアの方々の高齢化が進み、また5月に川崎市で児童を狙った殺傷事件が起きたことを受け、新たな防犯の担い手を増やすことを目的として静岡市が企画しました。

今年登録したのはJA静岡市や金融機関、保険会社などの業種の従業員が多く、営業など外回りをしながら見守りを行っています。

静岡市生活安心安全課防犯交通安全係長の熊切貴明さんは、腕章を付けた人を見かけるだけでも「不審者に対しては抑制効果があり、地域住民に対しては安心感を与えます。活動が多くなるの目には触れることが重要なので、ぜひ静岡市の安心安全のために皆様のご協力をお願いします」と話しています。



外回りしながら「ながら見守り」活動を行うLA



共済部 普及課 課長補佐 吉田 収

LAが特定の日や特定の活動を行うのではなく、防犯パトロールの腕章をつけて作業をしながら行うことから見守りを行うことで、不審者が各地域に近寄りにくくなり、静岡市が安心安全な町になることを期待します。